



青少年しまね

No. 101 令和2年(2020)3月

青少年育成島根県民会議
〒690-8501
松江市殿町1 県庁青少年家庭課内
TEL:(0852)-22-6255
FAX:(0852)-22-6045
HP: https://www.shimane-youth.gr.jp
E-mail: nobinobi@shimane-youth.gr.jp
Facebook: 「青少年育成島根県民会議」

5/10 県民会議表彰 P3

総会

7/14
7/20

11/12
11/23

街頭啓発活動



受賞おめでとうございます



ネットトラブルに気をつけよう

10/17

定時制通信制生徒生活体験発表会 P7

全国大会「奨励賞」
島根県知事賞を受賞!

9/26

少年の主張島根県大会 P4-5



全国大会第三位
受賞おめでとうございます



12/7
12/8

県青少年育成アドバイザー養成講座 P8



世界一素敵な言葉
それは…♪

R.2
2/17

「ここのは大賞」表彰式 P7

R.2
2/2

青少年育成県民運動推進フォーラム P6



R.2
1/25

三隅町民会議メディア研修会



キーワードは「協働」
県民会議はみなさんを応援します!!

素敵な一言
ありがとう

みなさんが一歩を踏み
出すきっかけになったのは…

PLAY BACK 2019



青少年育成島根県民会議のシンボルマーク……………
吾郷花純さんの作品です。中央の黄色い球は、宝物である子ども、青色は、子どもを育む社会の基盤、緑色は、保護者・家庭、ピンクは、学校・地域などの周囲の大人です。ほおずきのように、子どもたちがみんなに大事に育てられていること、いつか守られている葉が開き、社会に出て行くことを表現しています。



大人が変われば子どもも変わる

青少年育成島根県民会議会長 高橋 憲二

次代を担う青少年が、豊かな心を育み、たくましく成長し、やがて自立して社会の一員としての責任を担っていくことは、県民すべての願いです。

昭和40年代までは、火事を出さない、泥棒にはいられない、ゴミを散らかさない、伝染病を蔓延させない、祖父母を介護するなどのことは、家族の仕事、町内会の仕事、みんなの仕事でした。今では、治安は警察が、火事は消防が、伝染病は保健所が、介護は介護保険制度で対応し、すべて行政の仕事になってしまいました。豊かで安全な社会が実現したのです。

でも豊かで安全な社会にも、ほころびが少しずつ表れてきました。サービスや制度では対応しきれない「すきま風」が吹いています。子どもの貧困、ひきこもり、不登校、虐待、ネグレクト、校内暴力など子どもの世界だけでなく、高齢者をはじめとする大人の世界にも同じような「すきま風」が吹いています。

一方、「オレの努力の成果はオレのもの、なんで他人と分け合わなくてはならないのだ」と大きな声で主張する人もいます（どこかの国の大統領のよう

です）。能力のあるものがたくさん取る、たくさん稼げるのは才能や努力の成果だ。能力のないものは少なくしか取れない、たくさんほしければ人より努力しろ！このような人は「どんな状況になっても、誰にも迷惑かけないし、かけたくない。一人でも生きられる」とも思っているのです。だから、制度の「すきま風」が吹いていると「おい、ここ壊れているぞ、早く何とかしろよ」と怒鳴っているばかりで、なんでも行政の責任と決めつけてしまいます。

でも制度の「すきま風」にさらされた青少年を守ったり、ほころびを修理する・保全することは、行政も含めた「みんなの仕事」です。それを「自分の仕事」だと思って、黙って空き缶を捨てたり、子どもたちへのあいさつ運動をしたり、困っている青少年を見たら声をかけ、自分でできる範囲で手助けをする人たちがいます。そんな個人の努力を持ち寄って、共同体が共有する。そして持ち寄ったものを青少年と共に共有し、ともに活動をする。これが青少年育成県民運動です。

しまニッコ！スマイル声かけ県民運動にぜひご参加ください。

しまニッコ！サポーターズ紹介

「しまニッコ！（スマイル声かけ）県民運動」とは？

大人と子ども、大人同士、子ども同士が、笑顔で声をかけ合うことで、ふれあいの力を培い、絆を深め、手を取り合って生きるための県民運動です。

私たちもサポーターズとして活動しています！



○美郷町立邑智中学校 生徒会総務委員会

2月3日（月）と5日（水）に生徒会総務委員会のメンバーで「あいさつ運動」をしました。あいさつ運動は、8:00～8:15の15分間、総務委員会の9名が毎朝交代で行っています。生徒会では、毎年一年間あいさつ運動を行っています。1月から新しいメンバーに変わりました。3年生の築いたよい伝統を引き継ごうとがんばっています。なお、総務委員会は2年生7名、1年生2名で、登校する生徒に元気よくあいさつをしようとがんばっています。

○城北地区パトロールママの会

城北地区パトロールママの会は、小学校の登校時間に合わせて16名の会員が7カ所の地点に分かれ、朝の挨拶運動を実施しています。

「おはようございます」と、ほとんどの子が元気よく挨拶してくれ、こちらが元気をもらって子供達を見送っております。この子供達が笑顔で学校に通ってくれることが励みとなり、寒い朝も頑張って活動できます。こうした朝の活動をしていると下校時の子供達の姿に「おかえりなさい」「明日も元気で登校してね」と思うようになります。パトロールママの会、これからも笑顔と笑顔のハイタッチ「しまニッコ！」で活動をして行きたいと思えます。



○育英北幼稚園

「おはようございます！」朝から元気な声とともに可愛い園児達が次々と登園してきます。「今日も元気に えい！えい！おー！」

「しまニッコ！（スマイル声かけ）県民運動」サポーターズ募集中！！

青少年育成島根県民会議では、「しまニッコ！県民運動」をさらに県内各地に広めるための推進役を担っていただくサポーターを募集しています。青少年関係機関・団体、学校や事業所単位での登録もお待ちしています！サポーターにご登録いただいた方には「しまニッコ！サポーターズバッジ」をお渡ししています。詳しくはホームページをご覧ください！



しまニッコ！

検索

❁ 平成30年度 青少年育成島根県民会議表彰

令和元年5月10日(金) 青少年育成島根県民会議総会において

■青少年指導者の部

川津 慶治さん(松江市)、飯塚 修さん(松江市)、
野津 弘一さん(松江市)、小澤 巖さん(松江市)、
勝部 宏文さん(出雲市)、村田 丈一さん(出雲市)、
田中 芳子さん(出雲市)、川上 和人さん(益田市)、
山本 紀彦さん(江津市)、西尾 浩志さん(津和野町)、
小田 善史さん(津和野町)〔計11名〕

■その他の部

□羽っ子通学合宿実行委員会(邑南町)



ご寄付ありがとうございます！

・島根県写真家協会さん ・県庁手芸部はんどねマルシェさん
2団体よりご寄付をいただき寄附感謝状を贈呈しました。しまね家庭の日の事業に活用させていただきました。

❁ 島根県青少年育成アドバイザー養成講座

今年で9回目となる「アドバイザー養成講座(基礎研修)」が開催されました。全日本アドバイザー連絡協議会の峠テル子会長を講師に招き、小中学生のスマートフォンとの付き合い方について「スマホは天狗のかくれみの」という紙芝居を使った実践を紹介されました。参加者からも自分の地域で活用してみたいという声が上がりました。

期 日：令和元年12月7日(土)～8日(日)
会 場：島根県立青少年の家「サン・レイク」
主 催：青少年育成島根県民会議
島根県青少年育成アドバイザー連絡協議会
参加者：22名



❁ 街頭啓発活動報告

7月には「青少年の非行・被害防止強調月間」としてゆめタウン出雲(7月14日)、イオン松江(7月20日)で街頭啓発活動に参加しました。

11月の「子ども・若者育成支援強化月間」には浜田ゆめタウン(11月12日)、ゆめタウン出雲(11月23日)で市民会議のみなさんと一緒に啓発活動を行いました。浜田では島根県立大学マスコットキャラクターのオロリンが、応援に来てくれました。



❁ 令和元年度 青少年地域活動チャレンジ支援事業助成団体

県民会議では青少年自身が自主的に企画・運営する青少年育成や地域活動を支援しています。令和元年度補助金を交付した団体の事業を紹介します。

■島根県立大学松江キャンパスサークル「みんなの家」

第2 浜北台でらこや特別企画「ハロウィンパーティー!!!」

みんなの家サークルは、子どもの居場所をつくることを目的としたサークルです。現在、島根県立大学の学生27名と顧問の先生2名で活動しています。居場所づくりを通して、学校と家以外にも、子どもたちが安心できる場所や、地域の人たちとつながる場所を作りたいと考えています。10月に特別企画「ハロウィンパーティー!!!」を開催しました。

■三刀屋地区まちづくり協議会「青少年育成活動事業 サマーキャンプ2019」

三刀屋地区まちづくり協議会は雲南市内の30ある地域自主組織の一つで、管轄している地域には人口2500人、1006世帯を有しています。小・中・高校生を対象とした生涯学習事業は、サマーキャンプや通学合宿がありますが、高校生サポーターや中・高校生のインターンシップを受け入れたり、退職教員の応援によって学習の場づくりをしたりして「地域づくりは人づくり」をテーマに人材育成に積極的に取り組んでいます。



令和元年度 少年の主張島根県大会

県内13ブロックで開催された市郡大会から選出された17名の代表によって令和元年度「少年の主張島根県大会」を開催しました。

島根県知事賞1名、島根県教育委員会教育長賞1名、島根県警察本部長賞1名、青少年育成島根県民会議会長賞1名、審査員特別賞2名、優秀賞11名を選出し、島根県知事賞受賞者を県代表として「少年の主張全国大会」に推薦しました。

令和元年9月26日（木） 大田市民会館 大ホール

「少年の主張島根県大会」は、明日を担う中学生が、日常生活を通じ、日頃考えたり感じたことを多くの人前で発表することにより、自立心を育てる機会とし、主張を聞いた中学生は自分の考えを広め、自覚し、大人は中学生に対する意識や行動に理解や関心を深めてもらうことを目的としています。



アトラクション（北三瓶っ子太鼓クラブ）



発表者17名と審査員・来賓・主催者による集合写真



アトラクション（土江子ども神楽団）

令和元年度（第48回）「少年の主張島根県大会」 審査結果表

賞名	演題	地区	学校名	学年	氏名
島根県知事賞 ※全国大会【奨励賞】	泥の中から見つけたもの	江津	江津市立桜江中学校	3	矢萩 勝希
島根県教育委員会教育長賞	今、できること	松江	松江市立第三中学校	3	前田菜々子
島根県警察本部長賞	あたり前と向き合う	仁多	奥出雲町立仁多中学校	3	内田さくら
青少年育成島根県民会議会長賞	国境を越える想い	出雲	出雲市立第三中学校	3	神谷 亜季
審査員特別賞	「竜のように、星のように」	益田	益田市立中西中学校	2	伊藤 星竜
//	責任	鹿足	津和野町立津和野中学校	3	三家本亜瑠聖
優秀賞	五大地に生きる	松江	松江市立第二中学校	3	古藤菜々美
//	私と地域をつなぐ優しさ	邑智	邑南町立羽須美中学校	1	中村 美結
//	自分の意思を大切に	浜田	浜田市立三隅中学校	3	徳光 歩美
//	未来を変える力	雲南	雲南市立海潮中学校	3	新田 彩海
//	「限界」の少し先まで	隠岐	隠岐の島町立西郷中学校	3	高梨 紗知
//	あなたのしるし	益田	益田市立横田中学校	2	佐田 治子
//	笑顔の広げ方	出雲	出雲市立平田中学校	3	安食 妃菜
//	ごめんなさい	大田	大田市立第一中学校	2	花田 春希
//	一人一人の意識	安来	安来市立第一中学校	2	角 まりな
//	自分に負けない	大田	大田市立第一中学校	2	杉谷 心優
//	合同チーム	飯石	飯南町立頓原中学校	3	森山 智望

泥の中から見つけたもの

江津市立桜江中学校 3年 ^{やはぎ} 矢萩 ^{しょうき} 勝希 さん

12月8日（日）に東京で行われた全国大会に中国・四国ブロック代表として出場し、奨励賞を受賞しました！

2018年7月。西日本豪雨の影響で江の川が氾濫し、僕たちの家は床上1メートル20センチまで水に浸かりました。水が引き、避難していた祖母の家から僕たちの家に戻ると玄関には泥まみれになった通学用のバックが転がっていました。廊下には水を吸い込みパンパンになった教科書。中の物が取り出せなくなったランドセル。仏間の仏壇は水に浸かり、畳も山のように立ち上がっていました。台所の冷蔵庫も倒れ、家の中は元の様子が想像もできないほどぐちゃぐちゃになっていました。いつも強気な祖父もその状態を前にため息をつくほどでした。

家の片づけは、泥出しから始まりました。かき出してもかき出してもなくなる泥。最初は嫌だなど思いながらの作業でした。しかし、落ち込んでいる祖父や祖母の様子を見てると自分がもっとやらなくてはと思うようになりました。

ある日、泥出しが終わり、祖母の家に戻ると妹たちがいました。妹たちは災害に遭う前と変わらず、はしゃぎ、大笑いしていました。その姿を見て、僕も父も母も思わず一緒になって笑いました。ずっと張りつめていたものがほぐれ、肩の力もすっと抜けるような不思議な感覚でした。その瞬間だけは水害のことを忘れられました。僕はそのとき初めて笑うということが前向きに生きるために大切だということを知りました。次の日から作業中もなるべく笑うように心がけました。すると、あまり辛さを感じず、一日がとても速く過ぎるようになりました。水害から一週間ほどして、水に浸かってしまったものを全て家の外に出し、家の床もはがし、骨組みだけにすることができました。



水害から3カ月ほど経ったころから、自分たちで家の修理をすることになりました。父も祖父ももちろん僕も、大工仕事などやったことはありません。でも3人で直すしかないので。それまで僕はものづくりが好きではありませんでしたが、父や祖父と家を修理していくうちにその作業を楽しく感じるようになりました。骨組みの上に座板を置き、その上に床を張るなどして妹たちの部屋が完成したとき。壊れた押し入れに化粧板を張って直したとき。そういうときに大きな達成感を感じました。そして、それを喜ぶ家族の顔を見ると嬉しさはさらに大きくなりました。家が少しずつ修理され、完成に近づくにつれて、僕のものづくりに対する興味も膨らんでいきました。家の修理が終わるころには将来は大工になって、誰かのために家を建てたいと強く思うようになりました。これまで一度も大工になりたいなどと思ったこともなく、将来の夢もなかったので、水害も悪いことばかりではないなと少しだけ思いました。

僕は水害にあってつらいことがたくさんありました。恐怖も感じました。ただ、その中でマイナスの出来事であっても自分がその出来事をどう受け止めるかが大切だということを知りました。落ち込んでばかりではなく、笑顔でいればマイナスもプラスになるということも分かりました。僕が水害の片づけから将来の夢を発見できたのはいつも笑顔でどんなことも楽しんですることができたからだと思います。

この水害をきっかけにできた大工という将来の夢を、「いつも笑顔でどんなことも楽しんでする」ということを大切に絶対には叶えたいです。

県下最大のソリューション
ネットワークで、皆様の
ビジネスを+にクリエイト

CreA+

CreDo
創る、その先へ

CreAplus inc. ■ 本社
〒690-0883 島根県松江市北田町248番地
TEL 0852 21 3476 / FAX 0852 21 3866

その先の“いいね”を目指して——

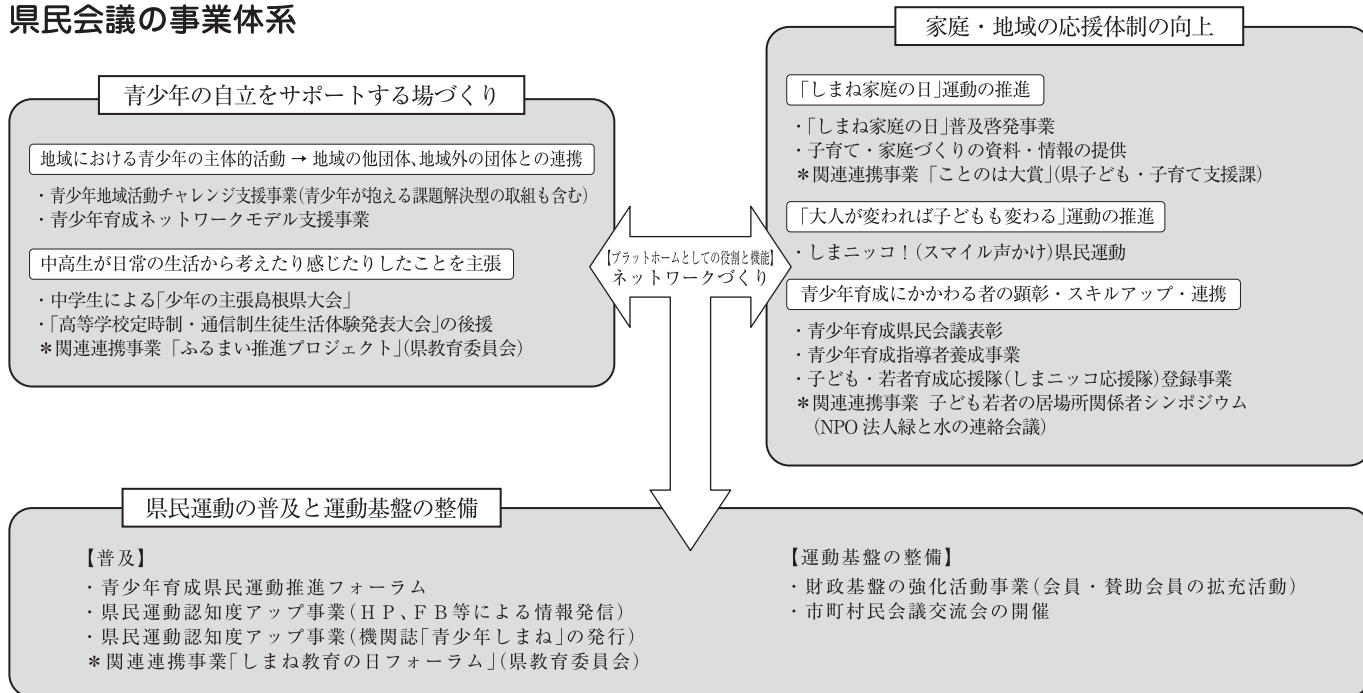
印刷会社 黒潮社

PRINT COMPANY KOKUCHOSHA

〒690-0841 松江市向島町182-3
TEL.0852-21-3409 FAX.0852-21-3554
E-mail koku@k-pri.co.jp

印刷 黒潮社 検索

県民会議の事業体系



青少年育成県民運動推進フォーラム

“地域で育む青少年の社会参画”をテーマに、青少年育成県民運動推進フォーラムを雲南市で開催しました。「チャレンジのまち 雲南」の取組紹介では高校生や大学生の若手チャレンジャーによる発表、実践発表では令和元年度チャレンジ支援事業助成団体の実践発表と「わかもの会議」を行いました。わかもの会議では高橋 賢史さん(ほっとスペースゆきみーる 室長)の司会で Clica(双方向意見交換システムアプリ)を用いた意見も交えて、会場も参加できるわかもの会議となりました。

期 日：令和2年2月2日(日)

会 場：雲南市木次経済文化会館 チェリヴァホール3F 大会議室

内 容：○取組紹介「チャレンジのまち 雲南」
雲南市教育委員会社会教育課 派遣社会教育主事 青木 拓夫氏
雲南若手チャレンジャー

○青少年活動実践発表
(令和元年度チャレンジ支援事業助成団体)
第2 凧北台てらこや特別企画「ハロウィンパーティー!!」
県立大学サークル みんなの家
「青少年育成活動事業 サマーキャンプ2019」 三刀屋地区まちづくり協議会

○わかもの会議
それぞれの地域・分野から集う若者によるディスカッション
テーマ「一人一人が主体的に輝く地域社会とは
～あなたがやる気スイッチを「ON」にした瞬間～
司会進行 高橋 賢史 さん (ほっとスペースゆきみーる 室長)

参加者：68名



印刷の情報は何でも
提供いたします



明和印刷株式会社

〒690-0822 松江市下東川津町61-5
Tel.0852-22-3196 Fax.0852-22-3306
E-mail:meiwa@ms1.megaegg.ne.jp



有限会社 高浜印刷

〒690-0133 島根県松江市東長江町902-57
TEL.0852-36-9100 FAX.0852-36-5775
E-mail: info@takahama.jp

高浜印刷は島根ササノオマジックを応援しています。



令和元年度 全国高等学校 定時制通信制生徒生活体験発表島根県大会

県内各高等学校の定時制・通信制に通う生徒8名が、学校生活や仕事・友人関係などを通して感じた思いを自分の言葉で堂々と発表し、「浜田高校通信制の田中彩絵さん」が、最優秀賞である「青少年育成島根県民会議会長賞」を受賞しました。

期日：令和元年10月17日（木）
会場：松江市 宍道高等学校



受賞おめでとうございます！

令和元年11月17日（日）六本木ヒルズ・ハリウッドプラザで第67回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表会が開催され、浜田高校（通信制）の田中彩絵さんが日本放送協会会長賞を受賞しました。各地方大会から選出された代表58名が発表しました。日本放送協会会長賞は文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞に次ぐ全国3位にあたる賞です。田中さんの功績を称え、心からお祝い申し上げます。

{発表題名「言葉のハチミツ」}

第18回

子育て
子育て

ことのは大賞



「ことのは」とは…

子育てや子ども、家族に関する楽しさやうれしさ、感動などをきらりと光るひとことで表した言葉のことです。

今年度は、全国から3,444通の応募がありました。

県子ども・子育て支援課が行う「ことのは大賞」事業を共催し、「県民会議会長賞」（一般の部・こっころの部）を授与しています。令和2年2月17日に県庁知事室で表彰式がおこなわれました。

イラスト：伊藤 巴さん



・会長賞 一般の部 柳井 康太さん（京都府）
「娘の寝返りを、ラグビーW杯のごとく応援する」



・会長賞 こっころの部 山根 侑隼さん（鳥取県）
「お母ちゃん、どうして泣いてるの？
ぼくがビデオにうつっているだけなのに」

しまね家庭の日

青少年育成島根県民会議では、家庭・家族のあり方を見つめ直し、家族でふれあう時間を作るために、毎月第3日曜日を「しまね家庭の日」として県民運動を行っています。

この一環として、「心に残る、家族の思い出」をテーマにしたエッセイを募集し、41作品の応募がありました。入賞10作品の内「会長賞」をご紹介します。

(このエッセイコンテストは「島根県写真家協会」様のご寄付により開催しました。ご支援に感謝いたします。)

会長賞

「おかえり」 T・S (43才)

息子が小学校へ入学して間もない頃、クラスに友達が一人もいなかった。一人で登校する姿を見送ったものの、心配で下校の時間になると家の前で待っていた。一年生とはいえ、すでに友達ができた子たちはキャーキャーと楽しそうに走りながら帰ってくる。その後ろから、とぼとぼうつむきながら息子が帰ってきた。どこか寂しげで小さな体に抱えきれないほどの不安や悩みを背負っているように見えた。母としてそばにいなながら何もできないことががゆかった。

学校での様子が気になり、先生に相談しようとしていた矢先だった。いつものように家の前で待っていると、遠くに二つの小さな影が見えた。楽しげにくっいたり離れたりしながら近づいて来たが、話に夢中で私に気づかない。「おかえり。」言い終わらないうちに涙がこぼれそうになり、空を見上げた。

「いまね、給食当番が同じなんだ。一緒に帰ろうって言ったら『いいよ』って言ってくれた。」息子は満面の笑みだった。隣にいた男の子も一緒に笑っていた。親の手を借りずに、自分の力で大きな壁を乗り越えた息子の姿に胸がいっぱいになった。

毎年入学したばかりの一年生を見かけると昨日のこのように思い出す。あれから息子は三年生になった。「ただいまー。」今日もとびきりの笑顔と共に元気な声が響く。「おかえり。」

※その他の入賞作品については県民会議 HP をご覧ください。

青少年育成島根県民会議

検索

「しまね家庭の日」協賛施設利用マップを作成しました。

毎月第3日曜日に家族で来場された場合に特典が受けられる「しまね家庭の日」協賛施設利用マップを作成しました。県内の45施設で協賛していただいています。

ご家族揃って出かけてみませんか？

(「しまね家庭の日」協賛施設利用マップ作成には県庁手芸部「はんどねマルシェ」様よりのご寄付を活用させていただきました。ご支援に感謝いたします。)

各施設へのアクセス、ホームページへのリンク、協賛施設利用マップはこちらのQRコードからダウンロードできます。



会員募集

青少年育成活動にあな
たのご協力をお願いします!!

■会員

青少年育成活動を支援し、推進していただける団体・企業・個人の方
年会費 5,000円 (一口以上)

■賛助会員

青少年育成活動に関心はあるが、参加できる機会が少ないため、資金面で支援をいただける団体・企業・個人の方

年会費・団体・企業：5,000円 (一口以上)

・個人：1,000円 (一口以上)

青少年育成島根県民会議では、次世代を担う青少年を育てる運動を広げるために、県民総ぐるみの青少年育成活動を展開しています。この活動は全て会員・賛助会員のみなさまの会費により運営されています。ぜひとも会員・賛助会員としてのご支援、ご協力をお願い致します。